

平成21年度後学期 学生による授業評価アンケート調査（最終）

「アンケート結果に応じて」

所属部局	人文学部		氏 名	伊東暁人
講義コード	2374005010		講 義 名	経営学 I
開講曜日	水 曜日	5・6 時限	専 門 科 目	
授業回数	15 回	休講回数	0 回	補講回数 0 回
				受講登録者数 201 人
成績評価に際し注意した事項				
<p>評価方法は期末課題レポート(40%)＋期末筆記試験(60%)。基礎的な概念の理解と日頃の勉強の積み重ねがわかるような設問・評価を心がけたつもりである。</p>				
報告内容				
<p>1. アンケートの設問別平均値について</p> <p>各設問の平均値は6.7～7.6に分布しており全体としてはやや良くらいであろうか。CSグラフで満足度との関係で相対的に改善が必要とされた(第4象限にある)事項が「設問3.教材(教科書等)の使い方～」(平均6.7、満足率56.9)、「設問7.学生の反応を～」(6.7、56.9)、「設問9.学生の質問・相談～」(7.0、66.7)の3点であった。まず、設問3であるが、教科書は用いず、レジュメ・参考資料をWebで提供し、授業ではPPTやVTRなど多岐にわたる教材を用いた講義を行った。その一つ一つをすべて丹念に解説する授業ではなく、レジュメ・資料とPPTも必ずしも対応させていないので、事前に予習を行い要点を自分なりに咀嚼できていないと消化不良の感に残るかもしれない。つぎに設問7であるが、確かに用意したPPTの解説を予定通りに進めることに精一杯で学生の理解や反応を確かめる余裕がなかった点は反省点である。人数も100人を超えるので個々の理解度を細かく確認することは困難であったが、何らかの工夫の余地はあろう。設問9に関しては、(十分な時間ではなかったかもしれないが)授業の最後には必ず質問を受け付け、メールやオフィスパワーでも常に応じていたので、このような評価はいささか不本意である。</p>				
<p>2. 記述式回答をみて</p> <p>記述欄の記述自体あまり多くない(4)ので、その意見を過大に評価することもできないが、「経営について深く学んでいくことができた」「面白い内容が多かった」と評価する声が寄せられる一方で、1名だけすべての項目に1(C-)をつけたうえで何ら具体的理由を示さずに「授業がいい加減すぎる。生徒のことを考えないのもたいがいにしてほしい。とっとアメリカでもどこでも行ってください。」という明らかに誹謗とも思える記述があった。意見要望などは常にメール等でもオープンに受け付けるとしてあるのに何の意見も寄せずに、匿名であることをよいことに2ちゃんねるの投稿のような無責任な記述は授業アンケートの意義そのものを危うくし、結果的に学生の不利益につながることを自覚してほしい。</p>				
<p>3. 今後の取り組みについて</p> <p>本科目は今年度限りの代講であったので来年度以降、私が担当して開講することは当面予定されていない。今回の講義経験を他の講義で生かしていきたい。</p>				
<p>4. 授業改善のための学生への要望</p> <p>アンケートの回答率が51.0%という数字が示しているように、この授業の出席率は平均的には履修登録者の半分程度であろう。「出席して寝ているくらいなら出席しなくてもきちんと自分で勉強できるならそれでいいよ」というのがこの講義での私のスタンスであり、それなりの工夫(Webによる教材の事前提供、メールによる質疑など)もおこなってきた。ただし、経営とか組織の現実をイメージしにくい学生にとって、授業にだけ出てきてただ座っていれば簡単にわかるというレベルではないと思われる。レジュメや参考文献などを各自で授業時間外に予習しないと十分に理解することは難しいであろう。試験の結果はそれを理解してがんばってくれた学生が多かった一方で残念ながら「出席もせず勉強もしない」学生も少なからずいたと推測される。この授業に限らず授業だけでわかろうとせずに、授業時間以外にしっかり勉強時間を確保するようにしていただきたい。授業改善は重要であるが、それとともに学生諸君もこちらの想定している勉強をしてくれないと内容の深い理解や授業の有意義さは高くならないと思われる。</p>				